

平成 29 年 9 月 12 日

ZAPPALLAS

各 位

会 社 名 株式会社ザッパラス
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 川嶋 真理
(コード番号 3770 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 小林 真人
T E L 03-5656-2758(代表)

業績予想の開示に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 6 月 12 日に公表しました「平成 29 年 4 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました平成 30 年 4 月期の連結業績予想(平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 4 月期の連結業績予想(平成 29 年 5 月 1 日～平成 30 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回修正予想(B)	4,800	△650	-	-	-
増減額(B-A)	-	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-	-
(参考)前期連結実績 (平成 29 年 4 月期)	4,846	294	298	134	10.59

2. 公表の理由

平成 30 年 4 月期の連結業績予想につきましてこれまで未定としておりましたが、平成 29 年 8 月 21 日にリリースしました通り、新規事業であるインターネット TV 局「占い TV」への投資や、占いリアルイベント「占いフェス」の継続的な開催を決定したことを受け、改めて精査いたしましたのでお知らせいたします。

売上高につきましては、モバイルサービス事業の主力である、占いデジタルコンテンツが前期から下げ止まっており、引き続き堅調な推移が予想されることを主因として、前期実績並みの 4,800 百万円を予想しております。

一方、営業利益につきましては、上記占いデジタルコンテンツが堅調に推移するものの、「占い TV」の映像制作関連費やアプリ開発費及び「占いフェス」の開催費用等の投資額を加味したことにより、650 百万円の営業損失を見込んでおります。

中長期的な成長路線への回帰を目指している中で、当期を重点投資の時期と位置づけ、「古い TV」を軸とした新規事業の推進に積極的に取り組んでいく方針です。

なお、経常利益及び当期純利益につきましては、外貨建て資産が為替相場の動向により大きく変動すること等から未定としております。

また配当予想につきましても、引き続き未定としております。

※上記の業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によりこれら予想数値とは異なる場合があります。

以 上